

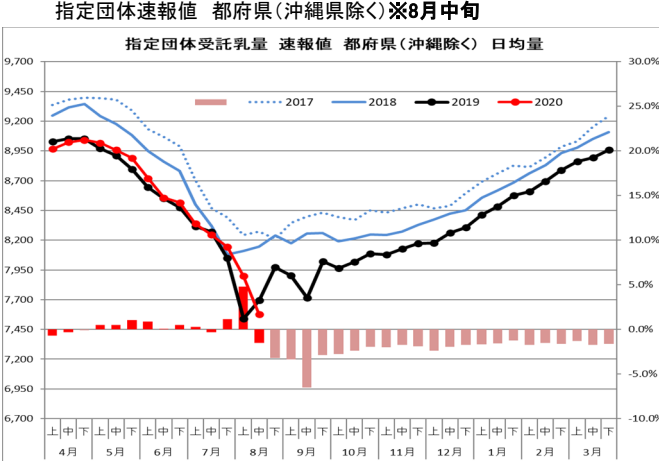
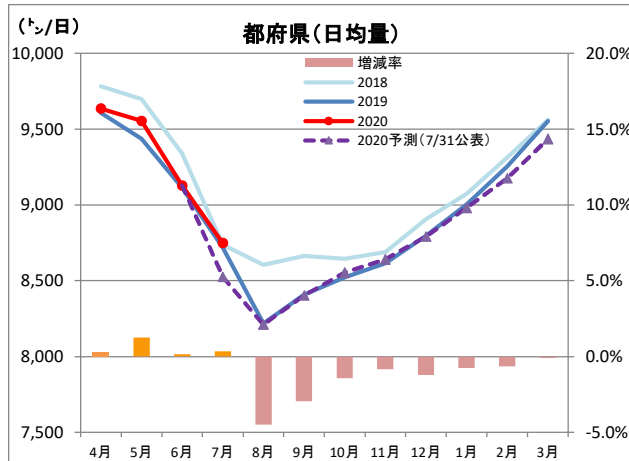
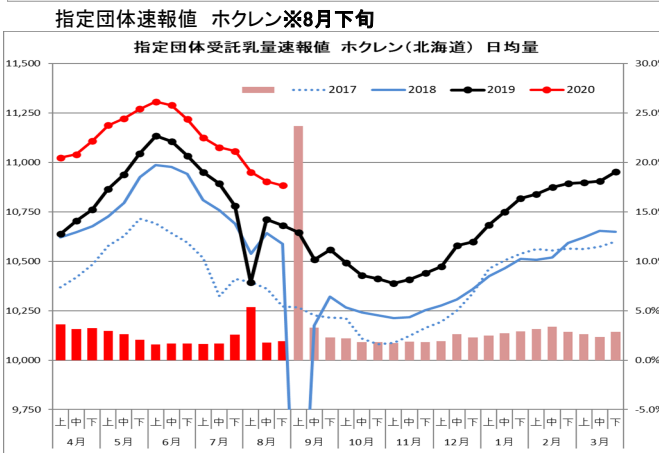
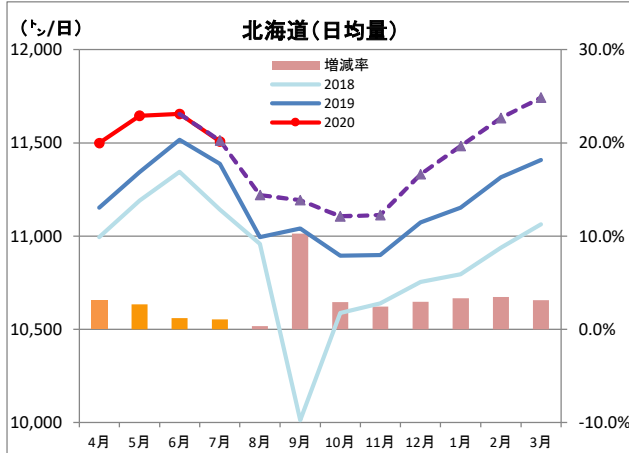
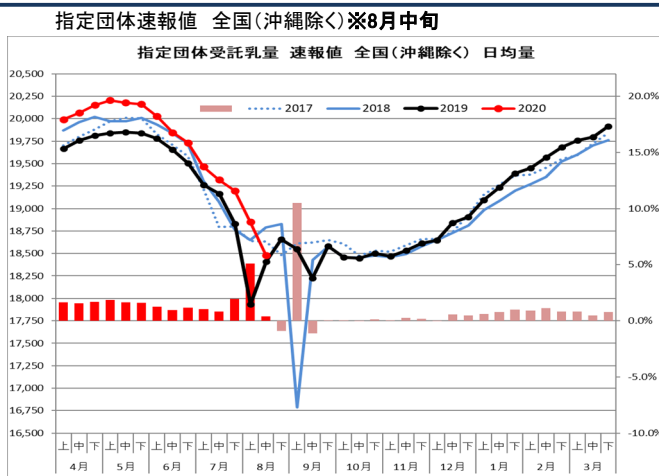
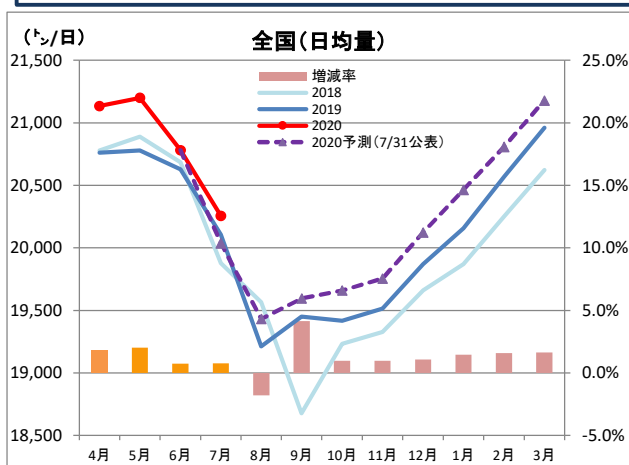
Jミルクが2020年7月31日に公表した「需給見通し(※2020年6月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。毎月25日の「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も随時、配信していきます。発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《台風10号の影響に警戒を〜夏季の生乳需給について〜》

- ・7月の需給実績については、気温が全国的に例年より低く推移したこともあり、生乳生産量は、直近の予測を上回って推移した。また、牛乳の家庭内消費については、前月より伸び率は縮小したものの、引き続き前年を上回って推移した。
- ・直近(8/24週)の牛乳消費については、前週(8/17週)に続き堅調に推移している。
- ・8月中旬以降、猛暑の影響で都府県では生乳生産量が大きく減少している。9月については、例年より気温が高くなる予報となっているため、引き続き都府県における生乳生産量の減少とそれに伴う需給のひっ迫が懸念される。
- ・なお、今後は台風が襲来するシーズンとなるが、超大型と言われる台風10号が7日には九州に接近する見通しとなっているため、影響が及ぶ地域においては、生産現場での警戒・備えに万全を期すとともに、市場の混乱等为避免のべく、引き続き業界で一致協力した対応が必要になると考えられる。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1)7月の生乳生産量は、全国628千 t (前年同月比100.8%)、北海道357千 t (同101.1%)、都府県271千 t (同100.3%)。
- (2)全国では、Jミルク予測値(621千 t)を若干上回って推移している。
- (3)北海道は、予測値(357千 t)と同程度で推移している。
- (4)都府県は、予測値(264千 t)からやや上振れしており、好調に推移している。
- (5)直近の指定団体速報値によると、全国が同100.4%(8月中旬)、北海道が同101.9%(8月下旬)、都府県(沖縄除く)が同98.5%(8月中旬)。



【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)7月の牛乳等生産量は、牛乳283千kl(前年同月比105.8%)、成分調整牛乳24千kl(同96.8%)、加工乳8.8千kl(同86.4%)、乳飲料99千kl(同97.1%)となり、牛乳類合計では415千kl(同102.6%)となった。

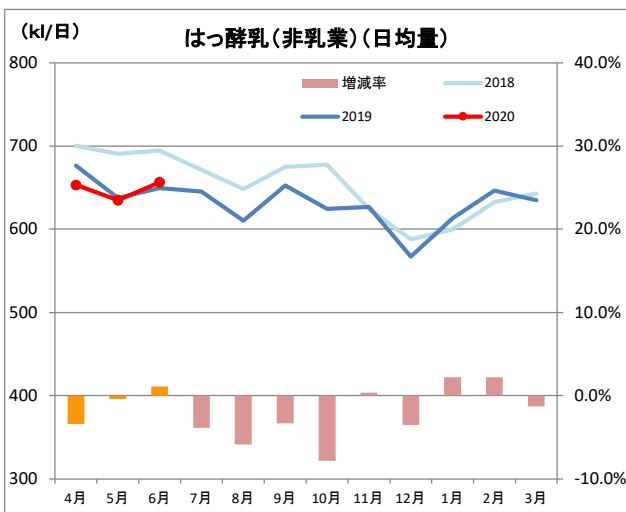
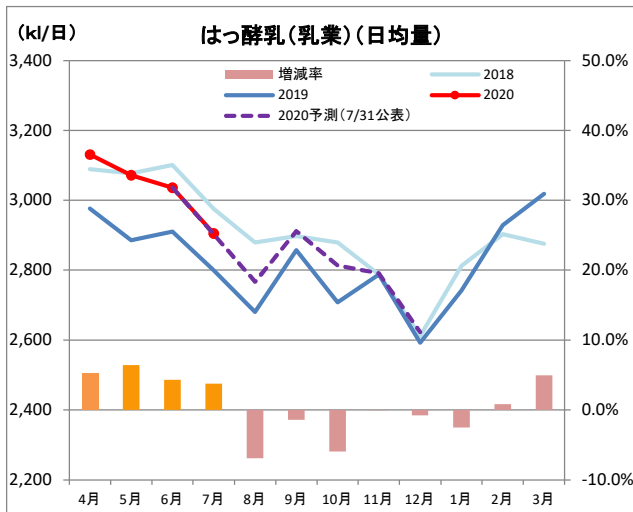
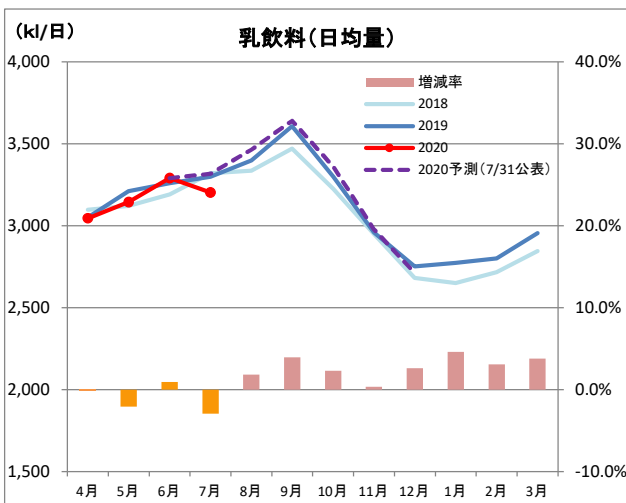
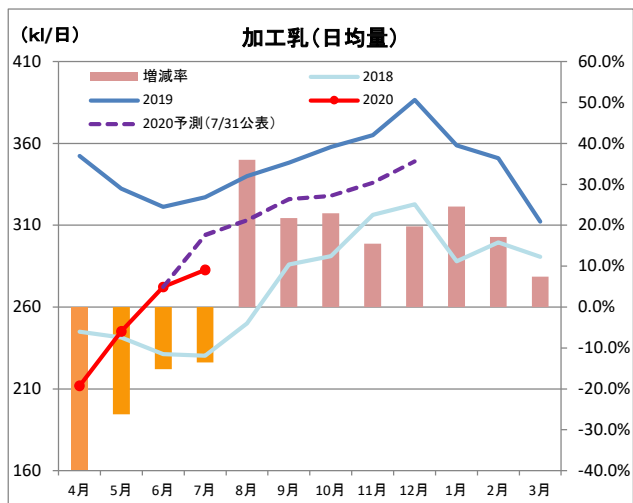
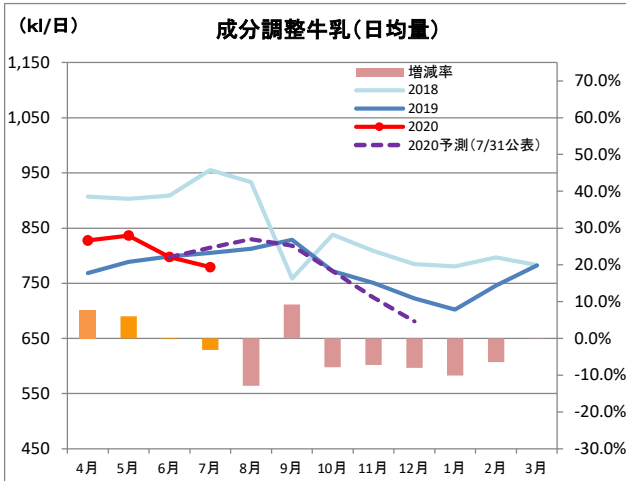
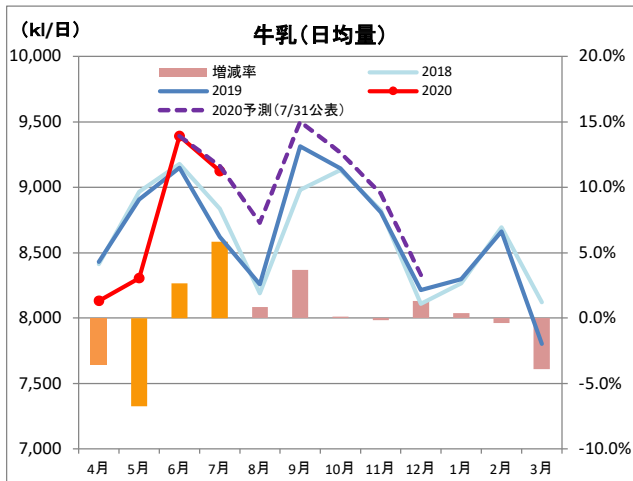
なお、予測値との比較では、牛乳(予測値:284kl)は同程度で推移しているが、その他の品目については下振れして推移している。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同102.6%と引き続き堅調に推移している。一方、「業務用」は同97.5%と前年割れとなっているものの回復基調にあり、「学乳」は同143.0%と夏期休業期間の短縮によって前年を大きく上回る結果となった。

(3)はっ酵乳(乳業)は90千kl(同103.8%)と引き続き前年を上回っており、非乳業実績(6月)についても同101.1%と前年を上回って推移している。

なお、はっ酵乳(乳業)は、予測値(90kl)と同程度で推移している。

※はっ酵乳(非乳業)資料:(一社)食品需給研究センター「食品製造業の生産動向」



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)7月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比105.8%、成分調整牛乳:同95.3%、加工乳:同93.1%、乳飲料:同101.7%。

・牛乳類では同103.9%と前年を上回って推移している。

・販売単価は、牛乳:190.7円、成分調整牛乳:175.1円、加工乳:181.6円、乳飲料:150.8円。

(3)直近(本年6月~)の動向(表②参照)

・直近(8/24週)の販売個数は、牛乳:前年同期比107.9%、成分調整牛乳:同95.0%、加工乳:同96.8%、乳飲料:同105.2%。

・牛乳類では同106.1%と前年を上回って推移している。

・販売単価は、牛乳:190.9円、成分調整牛乳:175.3円、加工乳:184.0円、乳飲料:150.1円。

・各品目とも前週(8/17週)と同程度の水準で推移している。

※出典 ㈱インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

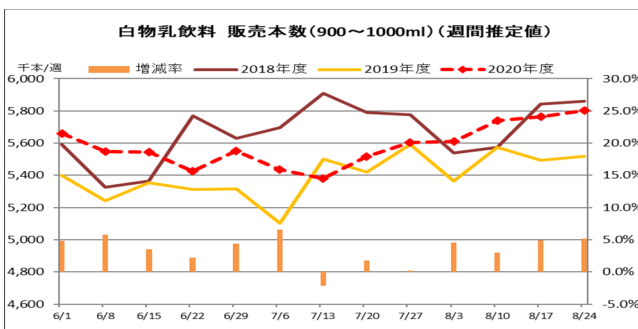
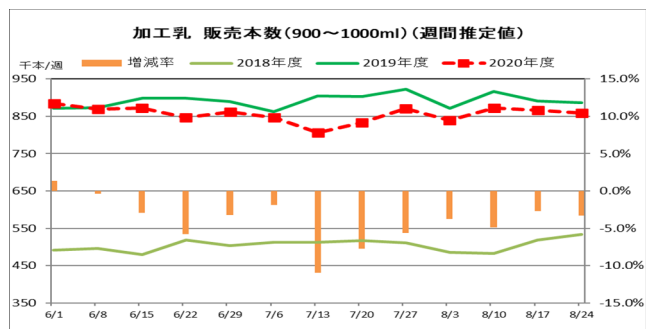
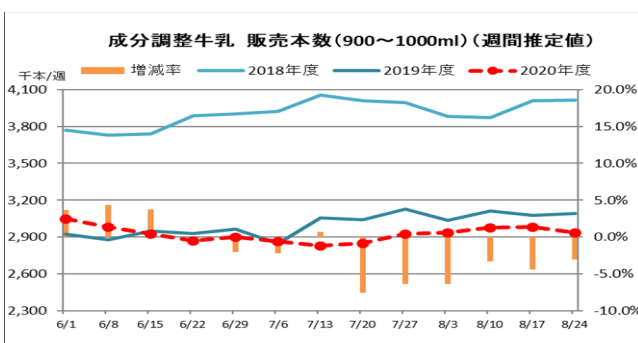
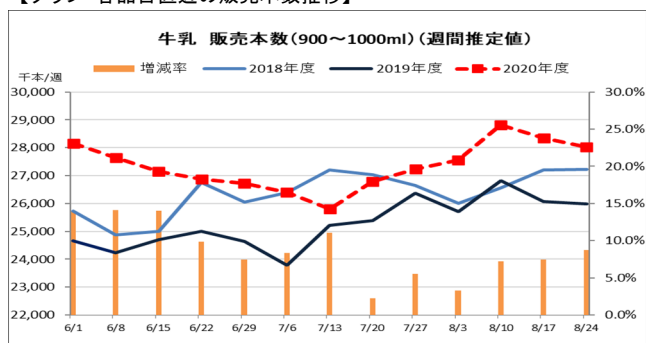
【表① 牛乳類の月別販売動向】

品目	区分	2019/8-	2019/9-	2019/10-	2019/11-	2019/12-	2020/1-	2020/2-	2020/3-	2020/4-	2020/5-	2020/6-	2020/7-
トータル	販売個数	157,017	153,596	148,298	134,058	136,831	130,706	130,783	148,892	157,820	170,377	157,603	156,578
	販売個数前年比	96.8	100.1	100.8	99.7	99.1	100.8	106.9	107.9	117.0	116.6	107.9	103.9
	販売単価	183.2	182.6	182.4	181.8	182.0	181.8	181.5	182.0	182.7	182.9	182.9	183.1
牛乳	販売個数	115,243	111,701	108,225	97,871	101,065	96,416	96,544	110,562	117,643	127,232	117,433	116,239
	販売個数前年比	98.0	100.5	102.6	100.2	100.0	101.4	107.7	109.1	119.2	119.1	110.1	105.8
	販売単価	190.9	190.5	190.2	189.7	189.4	189.4	189.1	189.3	189.9	190.3	190.3	190.7
成分調整牛乳	販売個数	13,581	13,640	12,364	11,490	11,514	11,016	11,040	12,526	13,231	13,978	12,662	12,597
	販売個数前年比	78.2	105.5	80.7	82.0	80.7	82.5	87.6	87.5	109.4	109.4	100.4	95.3
	販売単価	173.9	173.5	173.8	172.9	173.0	172.9	172.6	173.5	173.7	174.8	175.2	175.1
加工乳	販売個数	3,942	3,972	3,871	3,321	3,286	3,103	3,064	3,449	3,579	3,933	3,743	3,685
	販売個数前年比	178.2	160.1	178.1	180.9	179.3	178.0	188.6	189.0	108.3	102.7	98.4	93.1
	販売単価	188.2	184.7	183.3	182.6	183.5	182.7	182.1	182.9	184.3	181.3	180.4	181.6
乳飲料	販売個数	24,251	24,283	23,838	21,376	20,966	20,172	20,135	22,356	23,367	25,233	23,766	24,058
	販売個数前年比	96.7	90.2	99.0	102.4	100.8	103.7	109.5	108.8	112.5	111.3	103.3	101.7
	販売単価	151.1	151.0	151.4	150.3	150.5	149.9	150.0	150.4	150.9	150.8	150.7	150.8

【表② 牛乳類の販売動向(直近の動向)】

品目	区分	6.1-	6.8-	6.15-	6.22-	6.29-	7.6-	7.13-	7.20-	7.27-	8.3-	8.10-	8.17-	8.24-
トータル	販売個数	37,746	37,042	36,490	36,017	36,024	35,549	34,806	35,992	36,629	36,953	38,409	37,954	37,634
	販売個数前年比	111.5	111.5	107.6	105.5	106.5	109.1	100.3	103.5	101.7	105.6	105.4	106.8	106.1
	販売単価	182.7	183.0	182.9	183.0	183.0	183.0	183.0	183.2	183.1	183.4	183.8	183.4	183.2
牛乳	販売個数	28,152	27,640	27,146	26,877	26,713	26,401	25,794	26,794	27,225	27,566	28,821	28,343	28,033
	販売個数前年比	114.1	114.0	109.9	107.5	108.4	111.0	102.2	105.5	103.3	107.2	107.5	108.7	107.9
	販売単価	190.1	190.4	190.4	190.3	190.4	190.5	190.7	190.7	190.7	191.0	191.2	191.0	190.9
成分調整牛乳	販売個数	3,050	2,984	2,929	2,868	2,900	2,867	2,828	2,848	2,929	2,935	2,976	2,982	2,939
	販売個数前年比	104.3	103.7	99.3	98.0	97.8	100.7	92.4	93.6	93.6	96.7	95.6	97.0	95.0
	販売単価	174.8	175.0	175.2	175.5	174.7	175.3	174.8	175.3	175.1	175.0	175.1	175.0	175.3
加工乳	販売個数	884	870	872	846	861	846	806	833	871	839	872	867	858
	販売個数前年比	101.4	99.7	97.1	94.2	96.7	98.1	89.1	92.3	94.4	96.2	95.1	97.3	96.8
	販売単価	180.7	180.9	181.2	181.2	180.8	180.7	182.3	182.6	181.2	184.0	185.3	184.8	184.0
乳飲料	販売個数	5,659	5,549	5,543	5,426	5,550	5,435	5,379	5,518	5,604	5,612	5,740	5,763	5,804
	販売個数前年比	104.8	105.8	103.5	102.2	104.4	106.5	97.8	101.8	100.2	104.6	103.0	104.9	105.2
	販売単価	150.9	150.9	150.8	150.8	150.7	150.7	150.7	150.8	150.5	150.6	151.0	150.1	150.1

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値): インテージSRI】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績







(1)直近(本年6月~)の動向(表③参照)

直近(8/24週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。

(2)ドリンクタイプは引き続き前年割れ、個食タイプは前年並み、大容量タイプは前年を上回って推移している。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

品目	6.1-	6.8-	6.15-	6.22-	6.29-	7.6-	7.13-	7.20-	7.27-	8.3-	8.10-	8.17-	8.24-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
個食タイプ	→	→	↓	↓	→	→	↓	↓	→	→	→	→	↓
大容量タイプ	↻	↻	↻	→	↻	↑	→	→	↻	↑	↻	↻	→

 : 前年比90%未満	 : 前年比105%以上110%未満
 : 前年比90%以上100%未満	 : 前年比110%以上120%未満
 : 前年比100%以上105%未満	 : 前年比120%以上

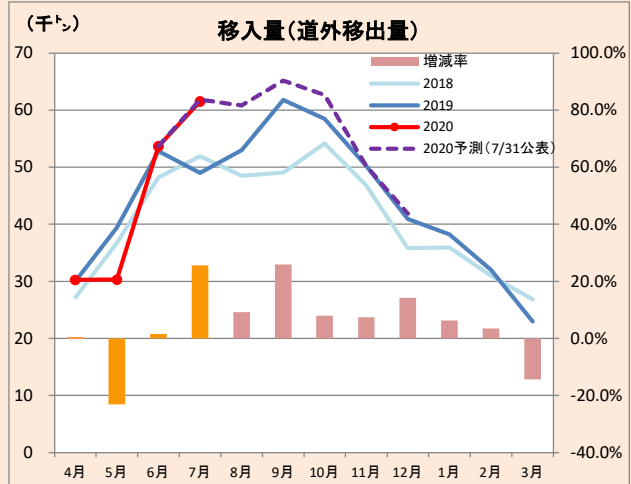
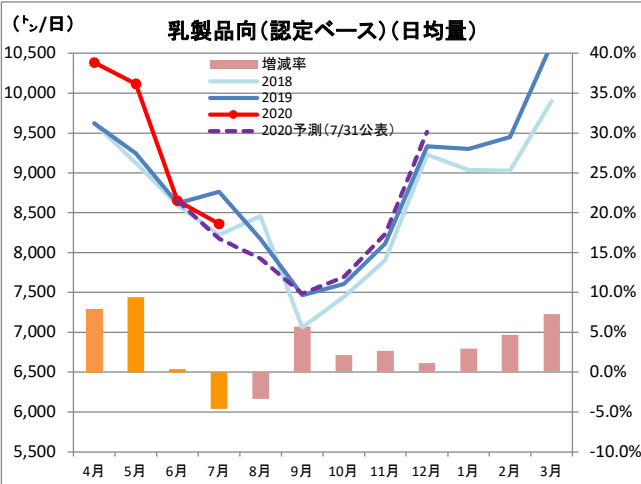
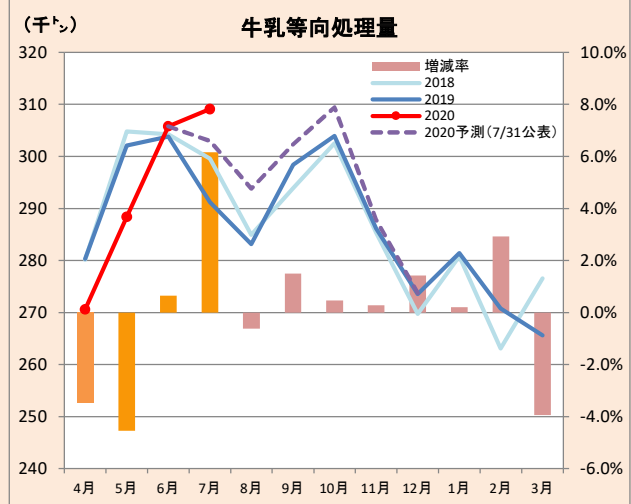
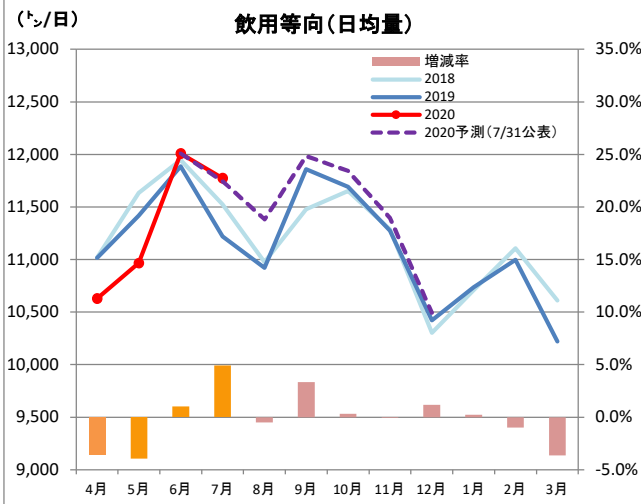
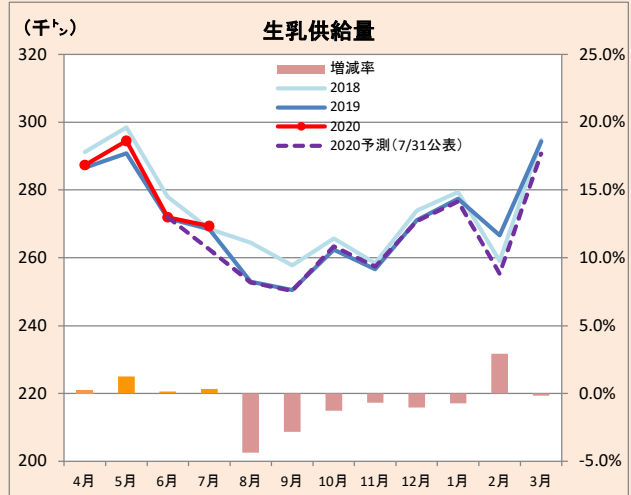
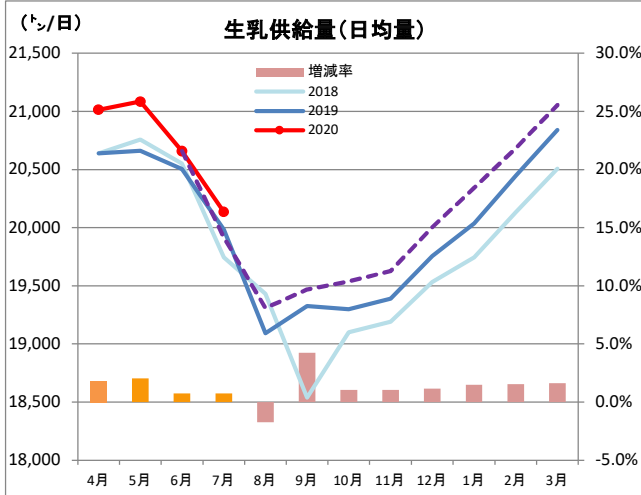
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【用途別処理量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)7月の生乳供給量は624千トン(前年同月比100.8%)、飲用等向365千トン(同104.9%)、乳製品向(認定ベース)259千トン(同95.4%)。
 (2)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:617千トン)は若干上振れしている。また、飲用等向(予測値:364千トン)は同程度、乳製品向(予測値:253千トン)がはやや上振れで推移している。

【都府県の生乳需給】 ※増減率は、日均量で算出。

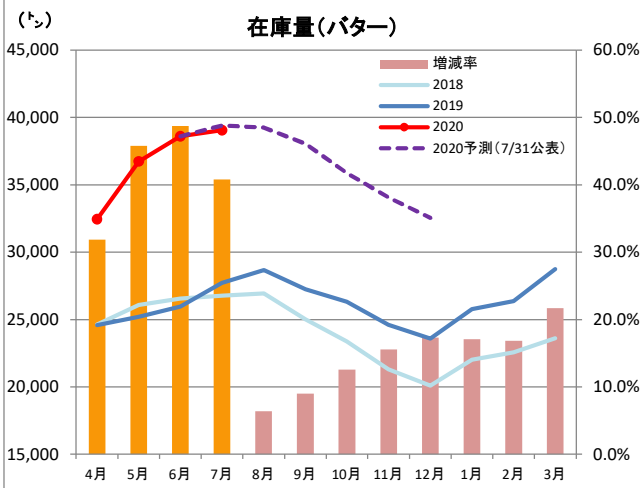
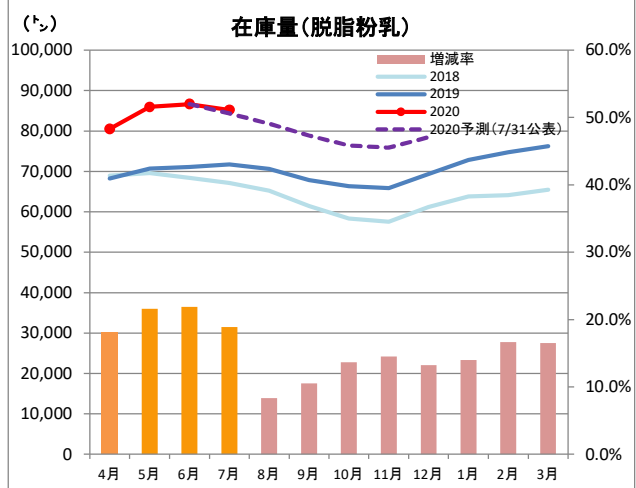
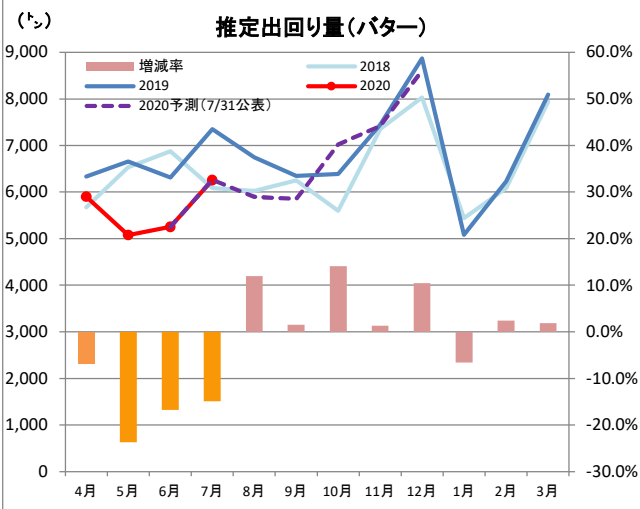
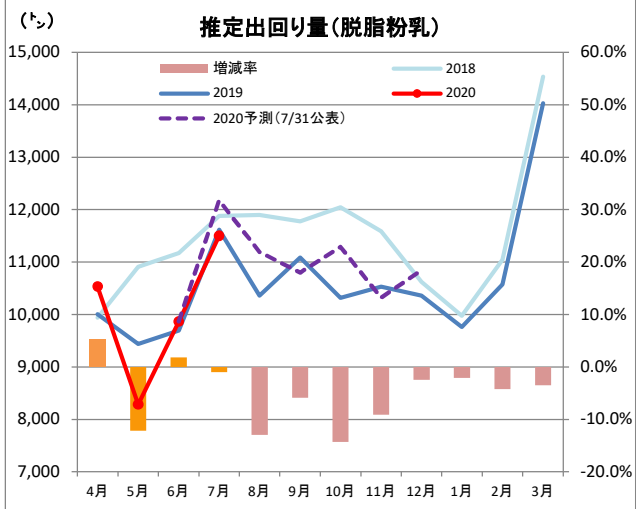
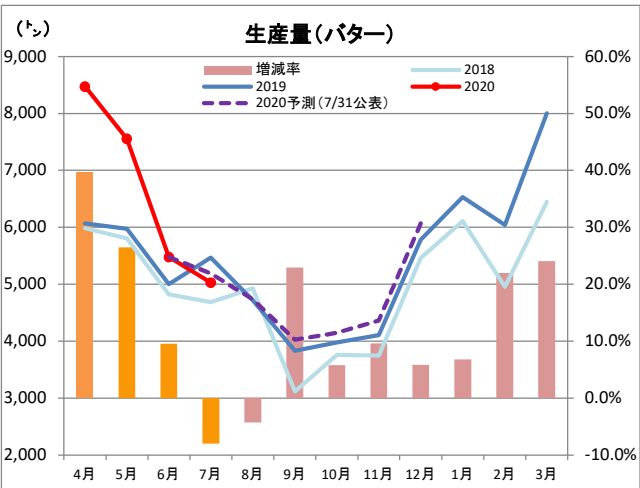
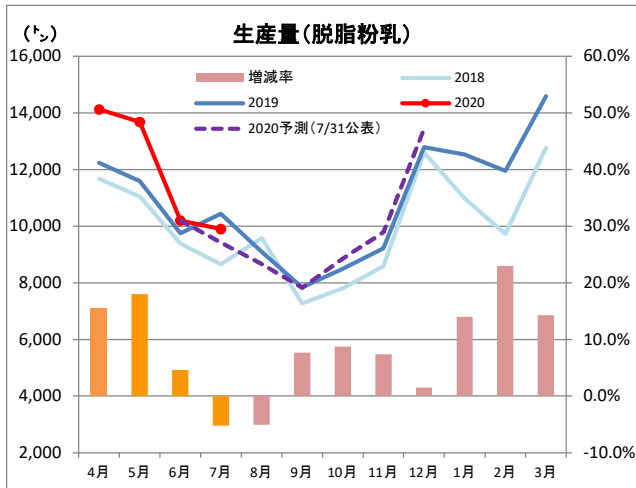
(1)7月は、生乳供給量269千トン(前年同月比100.3%)、牛乳等向309千トン(同106.2%)。
 (2)北海道からの移入量について、62千トン(同125.5%)と前月から大きく増加した。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:263千トン)、牛乳等向(予測値:303千トン)は上振れで推移しているものの、北海道からの移入量(予測値:62千トン)は同程度で推移している。



【脱脂粉乳・バターの需給】 ※増減率は、日均量で算出。

(1) 脱脂粉乳は、7月の生産量は9.9千トン(前年同月比94.8%)、推定出回り量は11.5千トン(同99.0%)、その結果、在庫量は85.3千トン(同118.9%)。推定出回り量(≒需要量)は前年をやや下回って推移している。
 なお、予測値との比較では、生産量(予測値:8.7千トン)はやや上振れ、推定出回り量(予測値:12.2千トン)はやや下振れしており、在庫量(予測値:84.4千トン)はやや上振れとなっている。

(2) バターは、7月の生産量は5.0千トン(同92.0%)、推定出回り量は6.3千トン(同85.1%)、その結果、在庫量は39.1千トン(同140.8%)。推定出回り量(≒需要量)は引き続き低調に推移している。
 なお、予測値との比較では、生産量(予測値:5.2千トン)はやや下振れしているものの、推定出回り量(予測値:6.3千トン)、在庫量(予測値:39.4千トン)は同程度で推移している。

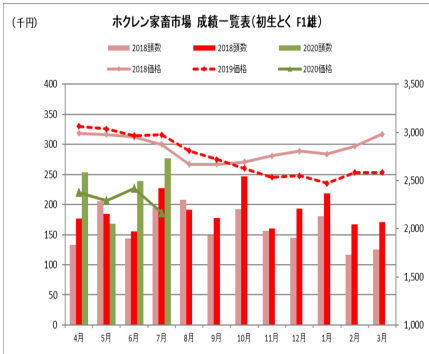
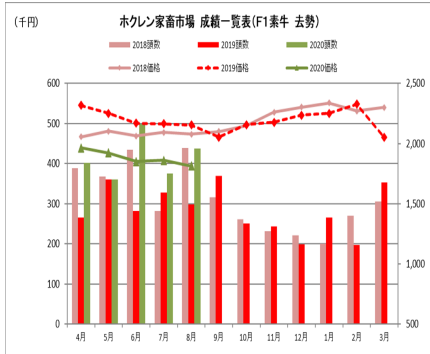
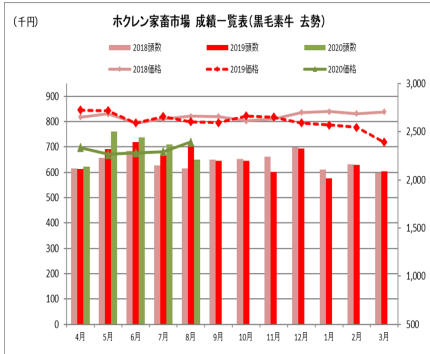
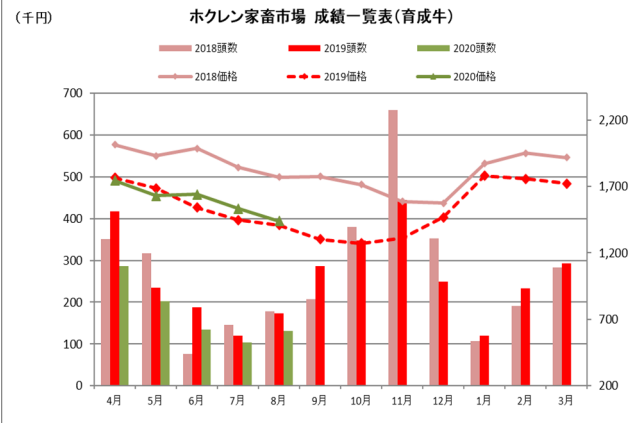
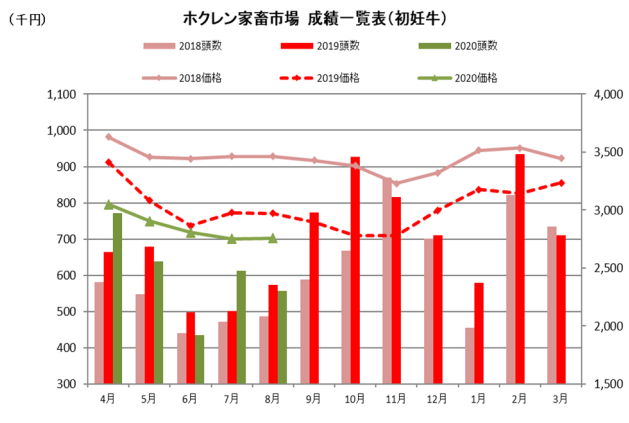


【家畜販売価格動向】

(1) 8月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は703千円(前年同期比91.2%)、育成牛価格は394千円(同102.3%)、和牛素牛(去勢)価格は720千円(90.1%)、F1素牛(去勢)価格は394千円(同79.4%)、F1初生(雄)価格は187千円(59.2%)。

(2) 上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同97.8%、育成牛:同82.6%。また、和牛素牛(去勢):同93.7%と前年を下回ったものの、F1初生(雄):同112.8%、F1素牛(去勢):同131.0%と前年を上回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)



【その他 気温推移】

向こう1か月間(9月)の天候予報によると、平均気温について、北日本で高い確率70%、東日本・西日本で高い確率80%となっている。今後は台風の影響も含めて、天候の推移には注意が必要。

※日本気象協会 向こう1か月間の天候
 ※下記図は、気象庁 前3か月の気温経過

